「憲法審査会で緊急事態を議論したい」安倍

安倍首相の「緊急事態宣言」は、この機会に改憲の機運をつくりだすことに照準を定めていることは明白です。事実、「**新型コロナウイルス感染症への対応もふまえつつ、国会の憲法審査会で活発な議論が展開されるのを期待したい**」（４月７日、衆議院）と発言しています。安倍が熱心なのは感染拡大阻止や補償ではなく「憲法改正」なのです。憲法に「緊急事態条項」を新設し、９条に「自衛隊」「自衛の措置」を明記して、戦争のできる強権国家体制をつくることにあります。

安倍は コロナを改憲の道具に使うな!

緊急事態と自衛隊を明記する改憲に反対！署名を集めよう

警棒を伸ばして威圧する警察官

上の写真は、「帰宅を促す」と称して、警棒を伸ばして新宿歌舞伎町を巡回する警官の姿です（４月 10 日）。警官が警棒を伸ばしたまま街を歩き回るなどということは、通常はありえません。国家暴力で威圧して民衆を抑え込もうというやり方で、「防疫」を担った戦前の警察を想起させます。

「緊急事態宣言」は改憲への地ならし

緊急事態だから「緊急事態宣言は当然」という考えは危険です。自分で自分の首を絞めることになりかねません。
安倍は今回の危機で労働者民衆を「緊急事態宣言」に慣れさせ、「緊急事態条項」を新設する改憲に誘導しようとしています。安倍は憲法の緊急事態条項は災害時のためと言っていますが、本当は戦争のためです。政府が戦争を決めた場合「緊急事態宣言」を発し、憲法も国会も停止して首相が独裁権限を握り、基本的人権を踏みにじって労働者民衆を戦争に動員するのです。このような改憲を絶対に許してはなりません。

「工事を続ける方針」と河野大臣

上の写真は、キャンプ・シュワブゲート前の座り込み闘争です。「緊急事態宣言」を出しても政府は辺野古の埋め立て工事を続けていましたが、建設業者が全国休業方針をとったため、やむなく中断せざるをえなくなりました。しかし菅官房長官や河野防衛相は「**工事を続ける方針に変更はない**」（４月 16 日）と開き直っています。21 日には新基地建設の設計変更を沖縄県に出してきました。人の命よりも軍事基地建設、これが安倍政権です。

「改憲・戦争阻止！大行進」実行委員会　http://stop-kaiken.blog.jp/
連絡先：千葉県千葉市中央区要町2-8 DC会館 tel.043-222-7207／東京都台東区元浅草2-4-10 五宝堂ビル5階

殺したのは安倍だ！

なぜ早期・徹底検査をさせない？

自宅待機中に亡くなる方も増えている。東京都世田谷区の社員寮で急死した 50 代の男性会社員は、発熱後、保健所に何度も電話したがつながらず、PCR 検査を受けられたのは発熱から６日後だった。８日目には自室で亡くなっていたのが発見された（右記事。東京新聞４月 26 日）。あまりにもむごい。

女優の岡江久美子さんの急死もそうだ。「４～５日様子をみるように」と言われ、そのうちに容体が急変し、その段階で検査しても手遅れだった。政府はなぜ早期検査をさせないのか？　どうして徹底的に検査しないのか？　一切の責任は、いまだに検査体制の抜本的変更をしようとしない政府にある。殺したのは安倍だ！

医療を壊してきたのは安倍だ！

安倍や小池が「医療従事者に感謝する」って？　これまでさんざん医療費を削り、人員を削って過重労働を強いてきたのは誰？　感染リスクにさらされ、生活も家族も命も犠牲にしなければ働けないような医療崩壊の現実をつくってきたのは、あなた達ではないのか。

安倍政権は、440 の公立公的病院を再編統合するため、５年間で入院ベッドを 20 万床も減らすという方針を確認し、その予算として 84 億円を盛り込んだ（３月４日）。

小池都知事は３月 31 日、都立８病院と公社６病院を地方独立行政法人化（＝民営化）することを決めた。墨東病院などの都立・公社病院は、今まさにコロナ患者を受け入れ、感染症や大規模災害時の緊急医療をおこなう数少ない病院だ。それをつぶして「儲ける病院」に再編しようとしている。許せない！

生きるために安倍政権を倒そう！

ところが安倍政権は、この期に及んでも、3000 億円とも 5000 億円ともいわれるオリンピックの追加費用を負担しようとしている。延期ではなく、ただちに中止にしろ！　医療用のマスクや防護服などの生産、検査費用にまわせ！　アベノマスク回収、ふざけるな！！

生き抜くために、安倍政権を倒そう！　そして、最前線の現場にいる医療労働者を守り支えよう。「コロナ解雇」許すな！　「10 万円給付」では足りない。休業・失業に対する 100%補償を団結して要求しよう。

2020年（令和２年）4月26日（日曜日）

単身赴任男性 無念の孤独死

世田谷 発熱6日後検査 死後コロナ判明

全国の警察が変死などとして扱った十五人が、新型コロナウイルスに感染していたことが判明した問題。そのうちの一人が、東京都世田谷区の社員寮で急死した五十代の男性会社員だった。単身赴任中の男性は発熱後、保健所に相談しようとしたものの電話がつながらず、ＰＣＲ検査を受けられたのは発熱から六日後。検査結果が出たのは、命が失われた後だった。（小野沢健太）

◆ 50代男性 死亡の経過

4月3日	発熱。少し前から上司が発熱とせき。妻に「新型コロナに感染したかも」とライン。保健所の相談センターに何度も電話したが、つながらず
7日	上司が陽性と判明。会社から検査を受けるように言われたが、相談センターに電話つながらず
9日	ようやくＰＣＲ検査。「結果が出るまで１週間かかると言われた」と妻にライン
10日夜	「せきがひどくて眠れない。胸が痛い」などと妻にライン後、応答なくなる
11日	男性が自室で亡くなっているのを同僚が見つける
13日	新型コロナによる肺炎が死因だと、妻が警察から知らされる
	電話殺到を受け、世田谷区が相談センターの態勢を強化

保健所へ電話 つながらず

岡江久美子さん死去 63歳、コロナで「はなまる」司会

2020年（令和２年）4月24日（金）

大和田獏さん「悔しくて悔しくて」

基地はいらない！　辺野古を埋めるな！　安倍をたおせ！

5.15 OKINAWA 連帯・全国統一行動

5月15日は沖縄が日本に「復帰」した日（1972年）。この日は「基地のない平和な沖縄」を願い、行動する日と位置づけられ、毎年「平和行進」や県民大会が行われてきました。辺野古埋立工事が進められる中、今年は全国統一行動（5.15～17）として取り組みます。